

4月の園便り



2019年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

入園おめでとうございます、進級おめでとうございます。

新しいお友だちを迎えて、嬉しい春です。オオイヌノフグリ（雑草）、とても可愛い花です。野原の中でオオイヌノフグリが咲いていると、その部分だけが輝いて見えます。美しい青い色をした可愛い花なのに、名前がかわいそうですね。

さて、幼児期は自然の中で育つことが望ましいといわれています。

森の案内人であり写真家である小西貴士さんのお話（抜粋）

「庭先の石をめくったら1匹のハサミムシがいて、卵の世話をしていました。その日から毎日石をめくって観察していると、2日目には、真っ白い透き通った体の赤ちゃんが生まれていました。3日目、すでに産まれた子は元気に動き回っています。ハサミムシの母親は卵の世話も、子どもの世話をしなくてはならず、忙しそうに見えました。4日目には、子どもの体の色がずいぶん黒くなっていました。そして、5日目、ハサミムシの母さんは、その身を子どもたちに食べさせました。母さんの命は子どもたちの命となってこの世界を生きます。命をつないでゆくという概念を考えるための最高のチャンスです。これは、わずか5cm×5cmの空間でのできごとです。自然環境が豊かではない都市部の暮らしの中でも、十分にいろいろな出会いが可能です。」

ハサミムシを観察しただけで、こんなドラマに出会えるのですね。園庭には、ハサミムシの幼虫がたくさんいます。子どもたちは何の幼虫か分からないまま、土を掘って、幼虫探しをしています、それでいいと思っています。大きくなって出会いに恵まれたら、きっと、じっくり観察して小さな虫のドラマに感動することだろうと思います。小西さんの話は感動ですが、ハサミムシのお母さんが、自分の命を子どもたちにつなげたことは、子どもたちがもうちょっと大きくなるまで教えないでくださいね。

自分で出会うまで待っていて下さい。“教えられること”と“自分で出会うこと”とは、まったく“学びの質”が違います、“子どもが自分で”ということを大切にしたいと思います。ハサミムシを観察しただけでも、ドラマにであうことができるのです。

自然は身近な足元にもあります、出かけていかなければ出会えないものではありませんね。子どもたちは虫眼鏡が大好きです。子どもたちと一緒に虫眼鏡を持って、草が生えている地面すれすれに虫眼鏡をおいてのぞいてみてください、ミクロの世界に出合えます。小さな自然に足を止めてみる時間を作ってみましょう。お母さんやお父さんが足を止めると子どもたちも足を止めるようになりますからね。

4月の予定

日	曜	給食	降園時間	行事
9	火	×	11:30	第一学期始業式です。
10	水			入園式です。在園児さんはお休みです。
11	木	×	11:30	新入園児保護者会です。降園時間は11:30です。
12	金	○	2:00	白ばらさんと青ばらさんは、給食が始まります。 赤ばらさんは、父母の会役員選出の会があります。
13	土	/	/	第2土曜日、お休みです。
14	日	/	/	
15	月	○	2:00	白ばら青ばらさんは父母の会役員選出の会があります。
16	火	○	2:00	
17	水	○	2:00	青ばら1組学級懇談会です。詳細は学年のお便りをご覧ください。
18	木	○	2:00	青ばら2組学級懇談会です。赤ばらさん個人懇談です。
19	金	○	2:00	赤ばらさん個人懇談です。
20	土	×	11:30	自由登園日です。
21	日	/	/	
22	月	○	2:00	白ばら1組学級懇談会です。
23	火	/	/	創立記念日、幼稚園はお休みです。
24	水	×	11:30	4月の誕生会です。早いお帰りで、よろしくお願いいたします 4月生まれさんの保護者の方、一緒にお祝いしましょう。
25	木	○	2:00	白ばら2組学級懇談会です。 赤ばらさん給食試食会です。詳細はクラスのお便りをご覧ください。
26	金	○	2:00	赤ばらさん給食試食会です。〃
27	土	/	/	第4土曜日、お休みです。
28	日	/	/	
29	月	/	/	昭和の日
30	火	/	/	休日

